

令和6年度 第103回全国高校サッカー選手権大会 山形県大会 実施要項

- 1 主 催 NPO 法人山形県サッカー協会・山形新聞・山形放送
- 2 共 催 山形県高等学校体育連盟
- 3 後 援 読売新聞
- 4 主 管 県内各地区サッカー協会・山形県高等学校体育連盟サッカー専門部
- 5 期日及び競技日程
 - 10月5日(土)-10月6日(日) 10時30分/13時00分(10時/12時/14時)試合開始
 - 10月12日(土)、14日(月) 10時30分/13時00分(10時/12時/14時)試合開始
 - 10月20日(日) 10時30分/13時30分試合開始
 - 10月26日(土) 12時05分試合開始
- 6 会 場
ND ソフトスタジアム山形、山形市球技場、県総合運動公園サッカー場・ラグビー場、東根市中央公園、山形市立商業高等学校、県内各グラウンド
- 7 参加資格
 - (1) 全国高校サッカー選手権大会基本要項に準ずる。
 - (2) 最新年度に(公財)日本サッカー協会(以下JFA)に加盟登録された高等学校チーム及び高等専門学校(以下高専)チームで、尚且つ当該団体に登録された生徒及び学生であること。
 - (3) 山形県高等学校体育連盟に加盟または準加盟している高等学校生相当であること。
 - (4) 平成17年(2005年)4月2日以降に生まれた生徒であること。ただし、同一学年での出場は一回限りとする。
 - (5) チーム編成について
 - ①同一校による全日制と定時制及び通信制の生徒による混成チームは認めない。
 - ②合同チームについては、高体連規約及び全国高体連サッカー専門部発出の「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」(別紙)に基づく。
 - (6) 転校後6カ月未満のものは参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、都道府県高体連会長の許可があればこの限りではない。
 - (7) 高体連加盟チームに所属していた選手は他校において6ヶ月間は出場できない。
 - (8) 転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は上記(6)に準ずるものとする。ただし、この規定(8)の適用は当該年度内に限るものとする。
 - (9) 学校長の出場承認を受けた者であること。
 - (10) 外国人留学生の登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。
- 8 競技規定
 - (1) JFA 制定の「サッカー競技規則 2024/2025」による。
 - (2) 選手登録は30名とする。内20名を大会当日エントリーする。
 - (3) 交代については下記の通りとする。
 - ① 試合開始前に、選手と最大9名までの交代要員の氏名を主審に通告し、交代要員のうち5名まで主審の許可を得て交代することができる。延長戦において交代枠(交代人数)は増えない。
 - ② 準々決勝まで、交代回数の制限は設けない。

- ③ 準決勝・決勝に関しては、上位大会にならない、以下の通りとする。
- ・後半の交代回数は3回までとし、延長戦に入った際は、さらに1回行うことができる。
 - ・後半の交代回数を使い切っていない場合でも、延長戦の交代回数は1回までとする。
 - ・前半、ハーフタイム、延長戦突入時のインターバルおよび延長戦のハーフタイムにも交代することができ、それらの交代は交代回数にカウントされない。
 - ・複数名を同時に交代する場合の交代回数のカウントは1回とする。
- ④ 「脳振盪による交代」は以下の通りとする。
- ・1試合において、各チームは最大1名まで行うことができる。
 - ・その前に何名の交代要員が使われているかにかかわらず、行うことができる。この交代は交代回数にカウントされない。
 - ・脳振盪の判定は、その選手の所属するチームスタッフが行うことを原則とする。
 - ・この交代が行われた場合、相手チームは、いかなる理由であっても「脳振盪による追加の交代」を行うことができる。この交代は交代回数にカウントされない。
 - ・「脳振盪による交代」と同じタイミングで「通常の交代」を行ったとしても、1回の「通常の交代」が行われたものとカウントされる。
 - ・「脳振盪による交代」と「脳振盪による追加の交代」は交代用紙の上部に○をすることで「通常の交代」と区別される。
 - ・「脳振盪による交代」または「脳振盪による追加の交代」の交代用紙を受けた第4番は、すみやかに主審と相手チームにそれらの交代を通告すること。
 - ・「脳振盪による交代」となった競技者は、医療機関に受診し、適切なインターバルについてその専門的な所見に従うこととする。
- (4) 今大会において退場処分を命じられた競技者は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、県サッカー協会規律裁定委員会で決定し、該当チームに指示をする。
- (5) 今大会において警告を累積2回受けた競技者は、今大会の次の1試合に出場できない。ただし、1・2回戦において警告を1回受けた競技者の累積は、3回戦にてキャンセルされる。
- (6) ユニフォームについては下記の通りとする。
- ① 背番号は1から30番までの番号で、参加申込書と同じ番号とする。ただし、チーム事情により26番以降のユニフォームの準備ができない場合は、試合当日にメンバー表4部及びすべての交代用紙の番号欄を手書きで訂正し、用いること。
 - ② FP、GKともに明瞭に区別された異色の正副2着を必ず携帯すること。
 - ③ 縞のユニホームの背番号・胸番号は台地に番号を入れること。
 - ④ 審判と同一色または類似色の上衣を用いることはできない。
 - ⑤ アンダーシャツ、アンダーショーツ、ソックスに貼り付けるテープの色は、ユニフォームと同色を原則とする。ただし、ユニフォームと異なる色のテープを用いる場合、出場する選手全員が異なる色のテープを同箇所貼り、同じ柄にすること。
 - ⑥ ユニフォームと異なる色のセパレートタイプのソックスを用いる場合、くるぶしより上の部分がユニフォームと同色となるようテープを貼ること。ただし、異なる色のテープを用いる場合、上記⑤に準じる。

9 競技方法

- (1) トーナメント方式とする。
- (2) 試合時間は80分とし、勝敗が決しない時は一回戦より20分の延長を行い、なお決しない時はPK方式により勝敗を決する。
- (3) インターバルタイムは10分とする。

10 参加料 各校1チーム10,000円とする。

11 参加申込

- (1) 申込書に登録し得る人員は、監督1名、引率1名、選手30名とする。
- (2) 各チームは3級以上の有資格者の帯同審判員を確保すること。
- (3) 申込は、所定の申込書2部と参加料、必要書類を添えて下記に申し込むこと。
- (4) 申込締切日は9月2日(月)17時まで必着のこと。

12 参加申込先

【置賜地区校の申込先】

長井 齋藤 幸司

【村山地区校の申込先】

山形南 井上 大介

【最北地区校の申込先】

新庄北 菊池 光

【田川地区校の申込先】

致道館 木村 良二

【飽海地区校の申込先】

酒田光陵 小松 正

5

13 登録選手の追加変更

- (1) 登録選手等の追加変更について、10月2日(水)正午までの追加変更を認める。
- (2) メンバー追加変更人数は合計で最大5名までとする。ただし、番号の変更はできない。
- (3) 追加変更の手続きはメールにより、下記のアドレスに送付すること。試合会場への原本の提出は不要とする。

【変更の申込先】

東桜学館 今野誉康

14 表彰

優勝以下、第3位まで表彰状、優勝・準優勝校にはメダルを授与し、優勝校には優勝旗を授与し、次回までこれを保持せしめる。優勝チームは全国大会へ出場できる。

15 組み合わせ

- (1) 9月4日(水)14時より公開抽選会を山形県総合運動公園大会議室において行う。
- (2) 式前に選手証・選手登録一覧を提出し、チェックを受ける(選手証については下記17(11)を参照すること)。

16 開会式・監督主将会議

- (1) 9月4日(水)15時より山形県総合運動公園大会議室において行う。
- (2) この席上優勝旗返還並びにレプリカの授与を行う。

17 連絡事項

- (1) 参加資格違反や不正な行為のあったときは、YFA規律裁定委員会の処分に基づく。
- (2) 試合球を各校持ちよりとする。ただし、3回戦からは主催者で準備する。
- (3) 試合会場への移動は各チームで行うこと。
- (4) メンバー表4部(本部、戦評、審判、相手チーム)の提出は試合開始45分前に本部に提出すること。
- (5) ユニフォームの確認は試合開始70分前に本部に正副持参の上、審判員立会の上確認を

受けること。

- (6) ベンチは対戦番号の若い方が、コートから本部を見て右側を利用する。
- (7) ベンチに入れる人数は選手9名・役員5名の計14名とする。役員についてはメンバー表に記載されたものとする。控えの選手はビブスを着用すること。
- (8) 今大会は準々決勝まで帯同審判制で実施する。ただし、準々決勝の帯同に関して、その経費を大会で負担することとする。棄権した場合でも帯同審判の義務は生ずる。
- (9) 飲水タイムを設けるかどうかについては、ユニフォームの確認の際に参加者の協議により決定される。
- (10) 荒天雷雨時の順延等の決定については主催者で決定する。
- (11) 各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること(抽選会前に提出し、監督主将会議終了時までにはチェックを受ける)。
 - ※ 選手証とは、JFAWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・選手登録一覧を印刷したもの。写真貼付された選手登録一覧を申込書の番号順に揃えて提出すること。
- (12) 追加変更された選手の選手証の確認は、当該チームの初戦の会場にて、選手証または印刷された選手登録一覧によってなされる(その他の選手の確認は、抽選会・監督主将会議においてなされるため、試合当日は不要である)。